



Title	『9.11』以後イスラムを教える：高校教育の現場から
Author(s)	大川原, 香子
Citation	関西アラブ・イスラム研究. 2004, 4, p. 117-123
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/105865
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『9.11』以後イスラムを教える —— 高校教育の現場から ——

大川原 香子*

Teaching Islamic History after '9.11': A Report from High School Classes

In this report I address the following question: what is the cause of difficulty of the teaching Islamic History to high school students? We used the questionnaires to collect the information about their knowledge of '9.11'. It was found through these questionnaires that even students who got low grades made correct answers. I would like to introduce the different situations of high school education system of Osaka Prefecture through consulting the textbooks of the world history that are used. We, teachers of the world history, must try to teach the Islamic history which is needed to attract the earnest interest of the students by analyzing the descriptions of the textbooks and using the audio-visual method.

1. はじめに

2001年9月11日のアメリカ合衆国での同時多発テロ事件が起こった時、私は前任校の大阪府立藤井寺高等学校で、2年生の世界史Bという科目を担当していた。その翌日の9月12日には、この前代未聞の事件について、私を含む社会科の教員は勿論のこと、社会科以外の科目のかなりの教員が、授業中何らかの形で、この事件のことに触れたのだった。私も、通常なら前近代史を教えるはずの授業時に、同時多発テロ事件の概要とその背後にある現代史、それも特に西アジア現代史の特別授業を行なった。この時、生徒たちは「これからの世界はどうなるのだろうか?」という危機感を持ったからか、普段なら世界史が苦手な授業になかなか乗ってこない生徒までが真剣に授業を受けていた。

従来、日本の高校生から遠い世界であるイスラム史の授業の時には、生徒達の授業への関心度はかなり低いものだった。イスラム世界へのエキゾチックな興味をかきたてる文化や生活、宗教などの導入部ならともかく、本論の

* 大阪府立柏原東高等学校 教諭

アンケート (2003年2月実施)

はじめに

2001年9月11日、アメリカでハイジャックされた飛行機が、ニューヨークの世界貿易センタービルなどに激突し、死者行方不明者が数千人にのぼるという大事件がありました。そして、この事件を境にして国際情勢が急激に変化し、テロの危機が増し、アメリカを中心とする戦争への動きも活発になってきました。

☆ 皆さんにお願い：高校生が今の国際情勢についてどれくらい関心を持っているのかを知り、今後の授業などの参考にしたいのでアンケートに教えてください。

- (1) 上の事件は現在何と呼ばれていますか。(正答率 100%)
A. ジハード事件 B. 同時多発テロ事件 C. ニューヨーク爆破事件
- (2) あなたは当時、この事件をどのようにして知りましたか (複数選んでよろしい)。
A. テレビ (29人) B. ラジオ (2人) C. 新聞 (3人) D. 人から聞いて (0人)
E. その他 (2人 = 携帯電話²⁾)
- (3) アメリカ政府は、この事件を起こしたのはイスラム過激派の「アルカイダ」だと結論を出しましたが、「アルカイダ」のリーダーは誰ですか。(正答率 96.6%)
A. ビン=ラディン B. アラファト C. フセイン
- (4) 2001年10月、アメリカが「アルカイダ」をかくまっているとして爆撃した国はどこですか。(正答率 82.8%)
A. パキスタン B. サウジアラビア C. アフガニスタン
- (5) 現在アメリカが「アルカイダ」と関係があるとして、戦争を開始しようとしている国はどこですか。(正答率 72.4%)
A. イラク B. イラン C. 北朝鮮
- (6) 国際情勢やこれからの将来を考える時、あなたが知りたいことは何ですか。(複数選んでよろしい)
A. 国際連合 (7人) B. アメリカの情勢 (6人) C. イスラムについて (2人)
D. 戦争と環境破壊 (19人) E. その他 (2人)

政治史に入ってイスラム世界の発展を一步一步辿ろうとすると、「何でこんなことを教わらないといけないのか？」といわんばかりに机上で寝てしまう生徒が出てしまっていた。

ところが、『9.11』以後、生徒がこの事件とイスラム史に示す関心の度合いは飛躍的に上がった。教員の方から水を向けなくても、生徒たちはこの事件の背景を知りたがり、世界史の授業への集中度も高まった。生徒たちの中に、イスラム史だけに終わらない、国際情勢全般への関心も芽生え、この年、藤井寺高校では、国際情勢を考える同好会が創設された。ただ、せっかく生

徒がイスラムに興味を持ち、自分で本を読もうとした時に、当時は高校生向けのイスラム入門書がほとんどなかった¹⁾。さて、あれだけ衝撃的であった『9.11』の事件も、生徒にとっては次々新たな事件が起こるにつれ、風化していった。

2. 『9.11』についてのアンケートより

2002年4月、私は大阪府立柏原東高等学校へ転勤になった。柏原東は進学校と目されていた前任校と違い、多様な進路をめざす生徒のいる学校であった。中にはイラン・イラクの国の位置が分からないような生徒までいる学校だった。勉強が苦手な生徒に対して、授業の水準を保ちつつ、しかも分かりやすい授業をしようと試行錯誤をする日々が続く中で、私はふと、学力が低く、狭い日常世界の中だけで生きてきた高校生が、国際情勢をどのくらい知っているのだろうかという疑問を持った。そこで、『9.11』の事件について、前掲のようなアンケートを作成して、1年生（彼らは事件当時中学2年生であった）のクラスでアンケートを行なった。ただ、このアンケートについては、母集団が少ないこと、人名などの用語について生徒が見慣れていた新聞などの用語を採用したため必ずしも正確な表記になっていないことをことわっておきたい。

前掲のアンケートを見ると、解答のために語群がつけてあり、高校生対象のアンケートとすると、平易なのが目に付くかもしれないが、これは、一概に高校生といっても学力の面では、「進学校」といわゆる「進路多様校」に天地ほどの開きがあることを意味したのである。

この小文のテーマである『9.11』以後イスラムを教える」を文字どおり高校の現場で実践しようとする時、目の前の高校生の学力がどの位か、彼らはどのようなカリキュラムの下で教科を学んできたのかを押さえなければ、先に一步も進めないことになる。

3. 高校の学校格差とカリキュラム

同時多発テロ事件のような世界史的事件を教える場合、対象生徒の学年、高校入学以来何を学んできたかというカリキュラム、その上で生徒の学力レベルを考慮する必要がある。私が公立校で教えている関係上、大阪府の公立

1) 2001年当時、高校生が独習できる本としては、岡倉徹志『アラブのゆくえ』（岩波ジュニア新書 1991年）くらいしかなかった。

2) 文部科学白書（平成14年版）p.40によれば児童・生徒の携帯電話を持つ割合は、小学5年生 12.4%、中学2年 24.9%、高校2年 78.1%となっている。

〈表 1：地歴・公民のカリキュラム (2002年度)〉

	① 1 位 校	② 4 位 校	③ 11 位 校
1 年次	1) 世界史 A (3単位)	1) 世界史 B (2) 2) 現代社会 (2)	1) 現代社会 (4)
2 年次	〈文理〉 1) 地理 A (3) 2) 倫理 (2)	〈文理〉 1) 世界史 B (2) 2) 日本史 B 又は地理 B (2) 〈理〉 1) 世界史 B (2) 2) 現代社会 (2)	〈文理〉 1) 世界史 A (2) 2) 日本史 A (2)
3 年次	〈文〉 1) 日本史 A (2) 2) 世界史 B (4) 又は 日本史 B (4)又は地理 B (4) 3) 倫理 (2) 又は政経 (4) (他教科との選択) 〈理〉 1) 日本史 A (2) 2) 世界史 B 又は日本史 B 又は地理 B (2) 3) 倫理 (2) 4) 政経 (4)	〈文〉 1) 世界史 B (2) 2) 日本史 B (3) 又は地理 (2) 類型選択 (7科目 から8単位選択) 〈理〉 1) 地理 B (4)	〈文理〉 1) 世界史 B (4) 又は日本史 B (4)

高校を例にとって、で学校間格差とカリキュラムの相関関係を見てみたい。大阪府では、全日制普通科の府立高校は129校あり、9学区に分けられている(2003年当時)。私の勤務する高校は第5学区にあるので、ここを例にとることにする。

第5学区では普通科の高校は14校あり、實際上、高校入試では1位から14位までシビアにランクづけされている³⁾。仮に、1位の高校を1位校と呼ぶことにする。1位校から7位校まではすべて昭和49年以前の設立のいわゆる「進学校」であり、8位校から14位校はそれ以降の設立で、下位校に行くほど生徒の進路が多様になっていく。公立高校では学習指導要領に沿ってカリキュラムを組み、又、その許容範囲内で各校の独自性を出すことになっている。この各校の独自性については、各校ごとに特色を出そうとそれぞれ工夫されるのだが、1位校から14位校までそのカリキュラムを並べると、皮肉なことに、同レベルの高校間でのカリキュラムの共通性が出てくることになった。

3) 『大阪府高校入試ガイド ZEST』(2003)、『高校入試ガイド』教育事業社 (2003)。

カリキュラムの例として、地理歴史（地歴）・公民科⁴⁾を取り上げると、〈表1〉のようになった。

これを見ると、公立上位校では大学受験に対応できる幅広い選択科目が準備され、公民では倫理・政治経済の選択が見られる。これに対し中・下位校では、選択科目の幅を狭めて特定科目に固め、地歴では世 A、公民では現代社会の選択が見受けられる。さらに「教育困難校」とも呼ばれる下位校では作業学習を含んだ選択科目も登場する。

上記のことを踏まえると、『9.11』を教える時、事件の背景や地理上の補足をあまり気にせず、すぐ本論に入れるのは中位校以上の高校に限られる。

4. 同時多発テロ事件と教科書記述

2001年9月の同時多発テロ事件が高校の地歴・公民の教科書でどのように表記されているかを調べてみた。教科書検定と値段によるページ数の制約から、各教科書の内容は横並び状態に少しそれぞれの社の特色が出ているといったところである。たとえば、世界史では世界史 B の教科書が19冊、世界史 A は9冊が全国で刊行され（2002年）、さらに2003年新1年生から始まる新課程の教科書が併行して刊行されていた。教科書に起きたばかりの事件が掲載されるのは少ないのだが、この年（2003年度）が新課程に移行する年だという幸運により、事件の記述の採用があった。それでは〈表2〉に幾つかの教科書の記述の例を載せることにする。

5. おわりに

『9.11』の同時多発テロ事件について高校生に自分の言葉でしっかり考えさせるにはどうしたらよいかという所から小稿を書きはじめたが、1時間の授業の小手先の技術ではとても補いきれないことが鮮明になった。さすがに今日の教育現場では、一昔前のように、「授業時間が足りないのでイスラム教・イスラム史を全部飛ばす」といったような乱暴な教え方をする教員は減っているが、興味本位でない正確なイスラム世界の情勢を生徒に伝えるという点では、教える側として引き続き努力が必要である。身近なところでは、教科書にイスラム関連の事象が、どのような形でどのくらいの量が掲載されているか、人名や歴史用語の表記は適切かといったことについて調べ、整理することが必要だろう。次いで、公立高校では設備が貧弱で難しい所もある

4) 高等学校学習指導要領解説によれば、地理歴史科目では、世界史 A (2単位)・世界史 B (4単位) より1科目を履修し、その他は、日本史 A・日本史 B・地理 A・地理 B の中から最低1科目を履修することになっている。

〈表2：教科書に見る『9.11』事件の記述例〉

	教科書名	発行所	記述の有無
世界史 B	詳説世界史 (新課程用)	山川出版	本文中なし 巻末年表に掲載
	高校世界史 (新課程用)	山川出版	本文中なし 巻末年表に掲載
	要解世界史 B	清水書院	本文中なし 巻末年表に掲載
	世界史 B (新)	実教出版	本文中に6行 ⁵⁾
	新選世界史 B (新課程用)	東京書籍	なし
	高等学校世界史 B (新課程用)	第一学習社	本文中に4行
世界史 A	要説世界史 A (新課程用)	山川出版	本文中なし 巻末年表に掲載
	世界史 A (新課程用)	実教出版	本文中に4行
	新世界史 A	桐原書店	なし
	高等学校世界史 A	第一学習社	本文中に3行
現代社会	現代社会 (新課程用)	山川出版	なし
	高等学校現代社会改訂版 (新課程用)	清水書院	本文中に6行 口絵に写真と解説
	現代社会 (地球市民として生きる) (新課程用)	教育出版	なし
	新現代社会 (新課程用)	桐原書店	本文中なし 写真のみ掲載
	高等学校新現代社会 (新課程)	第一学習社	本文中に2行 写真も掲載

かもしれないが、情報機材を利用して、生徒から遠いものであるイスラム世界の情報にふれさせることも必要だろう。

現在、各地の教育現場で行なわれつつある公立高校の「進学校」とそれ以外の高校との二極分化が行き着くところ、進学校は受験用世界史の観点のみになり、下位校の生徒には「教えても分からんだろう」として、教えることすら放棄することにならないかと危惧される。

5) 2001年9月にはニューヨークやワシントンなどでの同時多発テロで多数の死者が出た。アメリカ

幸か不幸か、『9.11』以来、ほとんどすべての高校生が、イスラム世界と日本、世界との関わりを知りたいと望んでいるので、この機会を生かせるよう、続けて「イスラムを教えること」について考えていきたい。

〔参考文献〕

- 河合秀和他『現代社会地球市民として生きる』2003年 教育出版。
木村靖二他『要説世界史 A』2003年 山川出版社。
玄田有史他『新現代社会』2003年 桐原書店。
小牧治他『現代社会の課題を巡る95の視点高等学校現代社会改訂版』2003年 清水出版。
斉藤孝他『新世界史 A』2003年 桐原書店。
阪上順夫他『高等学校新現代社会』2003年 第一学習社。
相良匡俊他『新選世界史 B』2003年 東京書籍。
佐藤次高他『高校世界史 B』2003年 山川出版社。
佐藤次高他『詳説世界史』2003年 山川出版社。
佐藤学『「学び」から逃走する子どもたち』2000年 岩波ブックレット No.524。
鶴見尚弘他『世界史 B』2003年 実教出版。
中田考『イスラームのロジック』2001年 講談社
中村哲他『歴史はどう教えられているか教科書の国際比較から』1995年 NHK ブックス。
中村義他『世界史 A』2003年実教出版
永山彦三郎『現場から見た教育改革』2002年 ちくま新書。
西村和夫他『学力低下と新指導要領』2001年 岩波ブックレット No.538。
向山宏他『高等学校世界史 A』2003年 第一学習社。
向山宏他『高等学校世界史 B』2003年 第一学習社。
山崎廣明他『現代社会』2003年 山川出版社。

はこのテロ行為の責任がアフガニスタンの支配組織が保護してきたイスラーム過激派にあるとして、2001年10月からアフガニスタンを攻撃し、タリバンの力をくつがえすことに成功した。
『世界史 B』p.353